３　商工・労働

	タイトル	意見等
1	高度外国人材採用活動支援補助金の見直しと外国人政策に関する県民意見の募集について	高度外国人材採用活動支援補助金の見直しと外国人政策に関する県民意見の募集について 徳島県の「高度外国人材採用活動支援補助金」について、制度の必要性、費用対効果及び県費の使途について、改めて検証していただきたいです。 限られた県税を活用する以上、なぜ外国人材の採用を対象とした補助制度を設ける必要があるのか、県として明確な政策目的と、その目的を達成するための費用対効果を示す必要があると考えます。 特に、本制度では人材紹介会社等への手数料や派遣に係る費用も補助対象となるため、実際に県費がどのような事業者・仲介事業者に支払われ、どの程度の雇用・定着・経済効果につながっているのか、適切に検証・公開されるべきです。海外の仲介事業者等を含め、県費が不適切な事業者の利益となることがないよう、支出先や契約の透明性についても確認を求めます。 また、県内企業の人材確保という目的であれば、県外からの日本人のUターン・Iターン、若者や子育て世帯の移住・定着など、他の施策との比較を行った上で、限られた財源をどこに重点配分することが最も県民の利益につながるのか、選択と集中の観点から検討すべきではないでしょうか。 外国人を個人として排除・差別することを求めているものではありません。問題としているのは、県民から徴収した税金を特定の採用形態に対して補助することの政策的妥当性です。 そこで、①本補助制度を設けた具体的な政策目的、②これまでの利用実績と雇用・定着等の成果、③県が把握している費用対効果、④今後も制度を継続する合理的根拠について、県として説明していただきたいです。 併せて、外国人の受入れ、就労、地域との共生等について、県民が幅広く意見を提出し、県の考え方を確認できる「外国人政策」をテーマとした目安箱を設けることを提案します。 県民の理解と納得を得ながら、限られた県財政をより効果的に活用するための議論を進めていただきたいです。
2	徳島県の経済政策	○後藤田正純徳島県知事はマクロ経済学及びミクロ経済学との一体化ができる経済対策を行わなければならない。 ※経済学とは「経世済民」又は「経国済民」が基本である。 ※広義の経済学の他、経営学・会計学・統計学・財政学・経済政策等を含む。
3	CEATEC 2026	○後藤田正純徳島県知事のは「CEATEC 2026」（千葉幕張メッセ）開催を機会に、徳島県においては「society 5.0」に基いて「徳島県全県デジテル6G・ICT情報ス-パ-ハイウエ-光の道」を実行しなければならない。 ※保健医療（ICTオンライン遠隔地医療・ICT電子診療録・ICT電子処方箋） ※エネルギー（ICTスマ-ト・グリッド） ※農業・食料（ICTスマート農業） ※地方創生（ICTスマート・シテイ，情報通信産業の産業振興） ※物づくり（ICTスマート・フアクトリ-） ※教育（ICT・e-ランニング・ICT電子教科書・ICT電子黒板）

３　商工・労働

	タイトル	意見等
4	最低賃金　高齢者雇用　婚活	最低賃金 まだまだ最低賃金が安いです。良く考えてみてください。 東京や大阪は家賃が高いですが、その分地域手当てや定期券による通勤手当の全額支給と待遇が違います。又働く場所も年齢問わず、職種も多くあります。 徳島県は家賃や土地は少し安いですが、その分売る時はほぼ建物は０円になり土地も５００万等破格的な安さで、今では空家だらけです。仮に5000万で家と土地を購入したとしても、２０年すれば建物は０円になり土地も破格的な安さです。関東や関西は購入した額よりも高くマンションは売れます。更に最低賃金も安く、地域手当てもなく、絶対に地方で住む方が損です。だから、東京や大阪に人口が集中すると思います。環境や教育の機会にも恵まれ環境格差もあります。便利で車も東京では要りません。絶対賃料はたかいですが、労働賃金も高く、車も要らない、環境に恵まれた都会がいいです。地方ほど最低賃金をあげるべきではないでしょうか？？地方で賃金が高くないと何も得が有りません。大学は東京だと通学出来ると思いますが、徳島県は県外に大半の人が出ていき、下宿代もかかります。子供2.3人いると下宿代だけでも費用は増えます。この様なことをみてもまだまだ最低賃金は安すぎます。関西と同じにせめてしてほしいです。知事が以前改善に尽力してくれましたが、もっと尽力してください。話し合いでは、又上がりません。企業誘致し企業の競争も大事です。 高齢者雇用 人が足りない割に、高齢者雇用が少ないです。介護か、清掃などしかありません。これでは、皆嫌がり働きません。もっと事務などの知的労働に高齢者雇用を優遇してほしいです。公務員の臨時も【会計年度等】も都会では65.70歳位の人が多くいるのに、徳島県は若い人をとりたがると聞きます。県も積極的にお手本となる様に、人材不足に高齢者を採用してほしいです。積極性をアピールすべきです。優秀な方は沢山います。徳島県をアピールするチャンスでもあります。高齢者雇用、事務１位の県みたいな。60.70歳でも１００年時代若いです。 婚活 マリッサ徳島をもっと運用して婚活に県ももっと力を入れていくべきです。東京は婚活に非常に力を入れています。もっとデジタル掲示等県庁前などの掲示板にも載せ宣伝すべきです。駅や駅構内などにも広告を。情報格差をなくすべきです。県のＳＮＳにもあげるべきです。